

■ベトナム：ベトナム国会 原子力発電所建設を正式に承認

ベトナムの国会は2009年11月25日、同国での原子力発電所建設を正式に承認した。この決定は、2009年7月に終了した予備事業化調査の結果を踏まえたもので、南部ニントゥアン省の2地点にそれぞれ2基、計400万kWが建設される。2地点の内、ニントゥアン1発電所（200万kW）はトゥアンナム郡フオックジン村に、ニントゥアン2発電所（200万kW）はニンハイ郡ビンハイ村に建設される予定で、ニントゥアン1発電所の建設開始は2014年、運用開始は2020年に予定されている。また、ニントゥアン2発電所の建設開始時期は、現在未定で、政府が今後の状況を見て判断することになる。なお、両発電所とも加圧水型軽水炉の採用が決定されているが、どの国の技術を採用するかは未定で、地元紙は、日本はフランスと並び有力候補の一つだと報じている。予備事業化調査に続く、事業化調査は2009年末以降実施される見通しである。